



令和5年9月定例会にて 初めての一般質問に立つ!

- (1) ヘルプマークの認知度向上と素材変更に関して
- (2) 小児がん治療後のワクチン再接種
- (3) 府立高校における重度障がい児、医療的ケア児の受け入れ状況と課題
- (4) 大阪国際感染症研究センターの研究を活かした感染症対策
- (5) 万博に向けた鉄道駅ホームの安全対策
- (6) 八尾富田林線早期完成、大阪柏原線(国道25号線バイパス)の実現
- (7) 府民の森みずのみ園地のにぎわいづくり
- (8) 久宝寺緑地のPFI事業

以上8項目を質問しました。主な質問を紹介します。



小児がん治療後のワクチン再接種

Q. 小児がんの骨髄移植後においては、府がワクチン再接種の助成はしているが、**抗がん剤治療後は助成対象**



となっていないため感染症から子どもたちを守るため**補助対象とする必要がある**と考えるが所見を伺う。

A. 助成対象に拡大について検討を行っていく。

府立高校における重度障がい児、医療的ケア児の受け入れ状況と課題

Q. 医療的ケア児が普通高校に入学した際、看護師や介助員などの支援人材の確保が困難である。**医療的ケア児生徒を支援する人材の確保は重要である。**

①府教育庁の取り組み②インクルーシブ教育のさらなる充実に向けた知事の所見を伺う。

A. ①(教育庁答弁)大阪府学校支援人材バンクの充実と広報活動、情報発信、看護師等の求職相談会への参加など周知を行っている。**今後も人材確保に向けた取り組みについて推進していく。**

②(知事答弁)障がいのある子どもたちの受け入れ体制や**教育環境の充実に向けた整備を進めていく。**

健康福祉常任委員会

社会福祉施設従事者へ2万円のギフトカード

全ての対象者の手に!

Q. 社会福祉施設従事者へのギフトカードの配布は第1弾では「知らなかった。」という声もあった。第2弾はそのような事のないように周知して頂きたい。

A. 工夫を凝らして**周知に努め**、施設からの申請が難しい場合は、**個人での申請できることも周知してまいる。**

Q. 中等度の難聴児を対象とする府の事業では購入時のみの交付で修理費は対象となっていない。難聴児の療育支援につながるよう修理費の交付も行うべき。

A. ご指摘の通り難聴児の療育支援には継続した補聴器の装着が必要と認識。**お示しの点も踏まえ検討していく。**



児童自立支援施設「府立修徳学院」視察へ

非行や家庭における虐待などの問題を抱える子ども達が健全な生活を送れるように施設内で学校での学びと寮生活を送り自立を支援していく施設。卒業後も孤立しない支援を推進していきたい。

